

## 第4回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 平成27年6月9日（火）1330～1435
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局長  
【京都府警察本部】警備第一課長  
【京丹後警察署】警備課長（京丹後警察署長代理）  
【京丹後市】副市長  
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長  
宇川連合区長会会長（京丹後市袖志区長）  
京丹後市防犯委員会会長  
京丹後市交通安全指導員会会長  
京丹後市女性連絡協議会代表  
京丹後市女性連絡協議会副代表  
京丹後市袖志区長  
京丹後市尾和区長  
【米軍経ヶ岬通信所】経ヶ岬通信所司令官  
【航空自衛隊経ヶ岬分屯基地】副隊長（第35警戒隊長代理）  
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

- 説明事項 I 経緯・現状等
  - (1) 運用開始後の経緯
  - (2) 工事等の状況
  - (3) 騒音対策の状況
  - (4) 交通事故の状況
- II 住民の安全・安心
  - (1) 交通安全講習会
  - (2) 交通誘導及び巡回警備業務
  - (3) 居住地の状況
- III 電波等の安全・安心（環境調査）
  - (1) 電磁界強度調査
  - (2) 水質調査
  - (3) 騒音度調査
- IV 雇用・振興策・地元交流
  - (1) 地元雇用の状況
  - (2) 日米交流事業
  - (3) 生活・産業への影響に対する対策
- V その他

### ○出席者の意見等の概要

#### (1) 騒音対策

##### 【意見要旨】

防音パネルの強化等の騒音対策の早期実施を求める。

**【回答要旨（近畿中部防衛局）】**

更なる騒音対策については、防音パネルの強化により、中高音域に対する効果を上げていきたいと考えており、現在、強風への耐久性などについて検討を進めているところであり、8月の穴文殊祭りも念頭に置き、米側と協議していく。

(2) 交通安全対策

**【意見要旨】**

自転車に乗る機会が増加すると思われるため、自転車運転も含めた交通安全講習会の継続実施と運転速度に関する注意喚起など安全運転意識の高揚を求める。

**【回答要旨（近畿中部防衛局）】**

平成27年5月の交通安全講習において、自転車講習も実施している。今後も、交通安全講習を繰り返し実施していく。また、米側は、全職員に安全運転の重要性を説き、誠実に取り組んでいるとのこと。

(3) 軍属の居住地関連

**【意見要旨】**

約30名の賃貸住宅への居住が一時的な措置なのかを確認したい。

**【回答要旨（近畿中部防衛局）】**

網野町島津地区における集合住宅の建設計画により、大多数の軍属の居住地が確保される見通しとなったが、他方で約30名が個別に居住している状況もあり、引き続き集合住宅の確保に向けて取り組んでいく。

(4) 工事関連

**【意見要旨】**

自衛隊の工事が始まったが、日曜祝日は工事を行わないとの理解で良いか。また、将来的には米軍の工事と重複するが、どのような安全対策が取られるのか確認したい。

**【回答要旨（近畿中部防衛局）】**

自衛隊の工事は、基本的には日曜祝日の工事は実施しない。また、安全対策については、小学校の登校時間帯における工事車両の通行見合わせや、注意を要する箇所への交通誘導員の配置を行うこととしており、今後米軍の工事に関しても安全確保について調整していく。

(5) 地域との交流

**【意見要旨】**

米軍がこれまでに3回の海岸清掃に参加したこと及び穴文殊祭りへの音楽隊の参加計画について謝意が述べられるとともに、「いかり高原まつり」や「イースターエッグハント」を通じた日米交流が好評で参加希望も多いため、更なる交流の促進・充実を図って欲しい。

**【回答要旨（近畿中部防衛局）】**

今後も、地元のご協力を得つつ、交流促進を図っていきたい。

○承認事項 規約の一部改正（地域住民代表に中浜区長を追加）

以 上

## 第4回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る 安全・安心対策連絡会説明事項

### I 経緯・現状等

#### (1) 運用開始後の経緯【資料1】

- ・ 昨年12月26日、レーダー配備完了（運用開始）。
- ・ 本年1月末、第I期工事完了。
- ・ 本年4月27日、日米安全保障協議委員会共同発表。

#### (2) 工事等の状況【資料2、3】

- ・ 本年5月、衛星通信器材を設置
- ・ 生活関連施設を整備する第II期工事は本年秋以降の着工見込み。  
（具体的な時期等については現在確認中）

#### (3) 騒音対策の状況【資料4、5】

##### ア これまでの対策

- ・ 昨年12月、防音パネル等設置。
- ・ 本年2月16日、発電機へのマフラー設置開始。
- ・ 本年3月4日、マフラー設置完了。
- ・ 本年3月16日、騒音・低周波音調査を実施。

##### イ 騒音・低周波音調査結果の概要

- ・ 本年4月10日、調査結果の概要を公表。
- ・ 経ヶ岬通信所内及び周辺地域（3カ所）とも、マフラーの設置により低周波音に属する90Hzの音の卓越が解消されたことを確認。
- ・ 周辺地域においては、低周波音の低減に伴い、中・高音域が相対的に目立つ状況に変化していることを確認。

##### ウ 今後の対策

- ・ 商用電力の導入について、米軍は電力会社との協議を開始しており、引き続き日米連携して精力的に取り組む。
- ・ マフラー設置後も残っている中・高音域の騒音に対する効果的な対策として、防音パネルの強化等の追加的措置について検討しているところ。
- ・ 追加的措置の実施を踏まえ、騒音調査を適切に実施。

#### **(4) 交通事故の状況【資料6】**

- ・ 交通事故の件数及び概要

### **II 住民の安全・安心**

#### **(1) 交通安全講習会【資料7】**

- ・ 本年5月13日、第3回交通安全講習会開催。
- ・ 今後、より効果的な講習を繰り返し実施予定。

#### **(2) 交通誘導及び巡回警備業務【資料8】**

- ・ 平成27年度も交通誘導及び巡回警備業務を継続して実施。  
→宇川小学校児童の登下校時における交通誘導  
→経ヶ岬通信所周辺地域等の巡回

#### **(3) 居住地の状況【資料9】**

- ・ 軍属の居住場所として網野町島津地区を選定。
- ・ 本年3月2日、事業者から住民に対する説明会を開催。
- ・ 計画概要： 6棟、68戸（年内建設完了予定）。

### **III 電波等の安全・安心（環境調査）**

#### **(1) 電磁界強度調査【資料10】**

- ・ 平成27年度は、運用後の調査を2回実施予定（6月下旬～7月、10月）。

#### **(2) 水質調査**

- ・ 第II期工事の進捗状況を踏まえ、排水開始後の調査を計画。
- ・ 磯焼け調査の実施に向けて調整。

#### **(3) 騒音度調査**

- ・ 騒音対策に係る追加的措置の実施を踏まえ、適切に調査を実施。

## IV 雇用・振興策・地元交流

### (1) 地元雇用の状況

- ・ 本年4月10日、京丹後市大宮町内に駐留軍等労働者労務管理機構（エルモ）京丹後支部開設。
- ・ 同機構は、全国の在日米軍基地で働く駐留軍等労働者の雇入れ、提供、労務管理、給与及び福利厚生業務を実施。
- ・ 経ヶ岬通信所においては、6職種7名（※）の駐留軍等労働者を雇用しており、うち4名が京丹後市出身者
  - （※） 社会関係（連絡）専門職【通訳、広報】2名
  - 管理専門職【一般事務】1名
  - 書簡事務職【郵便物の受理】1名
  - サービス契約検査主任職【業者が行う業務の検査】1名
  - 車両運転手【車両運転】1名
  - 補給専門職【補給品の在庫管理】1名

### (2) 日米交流事業【資料11】

- ・ 平成27年度においても、イースターエッグ・ハントの開催、いかり高原まつりへの参加を通じた日米間の交流が促進。
- ・ 現在、8月の穴文殊祭りへの米軍の参加等について調整中。
- ・ 今後も引き続き、事業を企画・検討。

### (3) 生活・産業への影響に対する対策【資料12】

#### ア 生活・産業対策

- ・ 再編交付金事業（平成27年度 当初分）
  - ふれあい広場設置事業ほか16件
- ・ 障害防止事業（平成27年度）
  - 尾和用水路事業
- ・ 民生安定事業（平成27年度）
  - 除雪機械整備事業、高規格救急車整備事業 計2件

#### イ 交通環境整備対策

- ・ 民生安定事業（平成27年度）
  - 府道浜丹後線、府道間人大宮線の改良事業 計2件
- ・ 工事費（原因者負担金）（平成27年度）
  - 国道178号線、482号線の改良事業

## V その他

### 航空自衛隊工事【資料13】

- ・ 本年5月中旬に着工、平成29年度末に完了予定。  
→新規取得用地において、既存施設の移設整備を実施
- ・ 本年度は、主に敷地造成等を実施。  
(主な安全対策)  
→宇川小学校の登校時間帯(0730～0830)における大型  
工事車両の通行を見合せ。  
→宇川駐在所周辺の狭隘な急カーブ区間に複数の交通誘導員を配  
置。

日米安全保障協議委員会共同発表  
変化する安全保障環境のためのより力強い同盟  
新たな日米防衛協力のための指針(抜粋)

2015年4月27日  
岸田外務大臣  
中谷防衛大臣  
ケリー国務長官  
カーター国防長官

## 1. 概観

2015年4月27日、ニューヨークにおいて、岸田文雄外務大臣、中谷元防衛大臣、ジョン・ケリー国務長官及びアシュトン・カーター国防長官は、日米安全保障協議委員会(SCC)を開催した。変化する安全保障環境に鑑み、閣僚は、日本の安全並びに国際の平和及び安全の維持に対する同盟のコミットメントを再確認した。

閣僚は、見直し後の新たな「日米防衛協力のための指針」(以下「指針」という。)の了承及び発出を公表した。この指針は、日米両国の役割及び任務を更新し、21世紀において新たに発生している安全保障上の課題に対処するための、よりバランスのとれた、より実効的な同盟を促進するものである。閣僚は、様々な地域の及びグローバルな課題、二国間の安全保障及び防衛協力を多様な分野において強化するためのイニシアティブ、地域協力の強化の推進並びに在日米軍の再編の前進について議論した。

(中略)

## 3. 二国間の安全保障及び防衛協力

閣僚は、様々な分野における二国間の安全保障及び防衛協力を強化することによって同盟の抑止力及び対処力を強化するための現在も見られる進捗について、満足の意をもって留意する。閣僚は、

・ 弾道ミサイル防衛(BMD)能力の向上における協力を維持すること、特に2014年12月のAN/TPY-2レーダー(Xバンド・レーダー)システムの経ヶ岬への配備及び2017年までに予定されている2隻のBMD駆逐艦の日本への追加配備の重要性を強調した。これらのアセットは、連携の下で運用され、日米両国の防衛に直接的に寄与する。

(以下略)

# Current KCS Configuration



As of 29 May



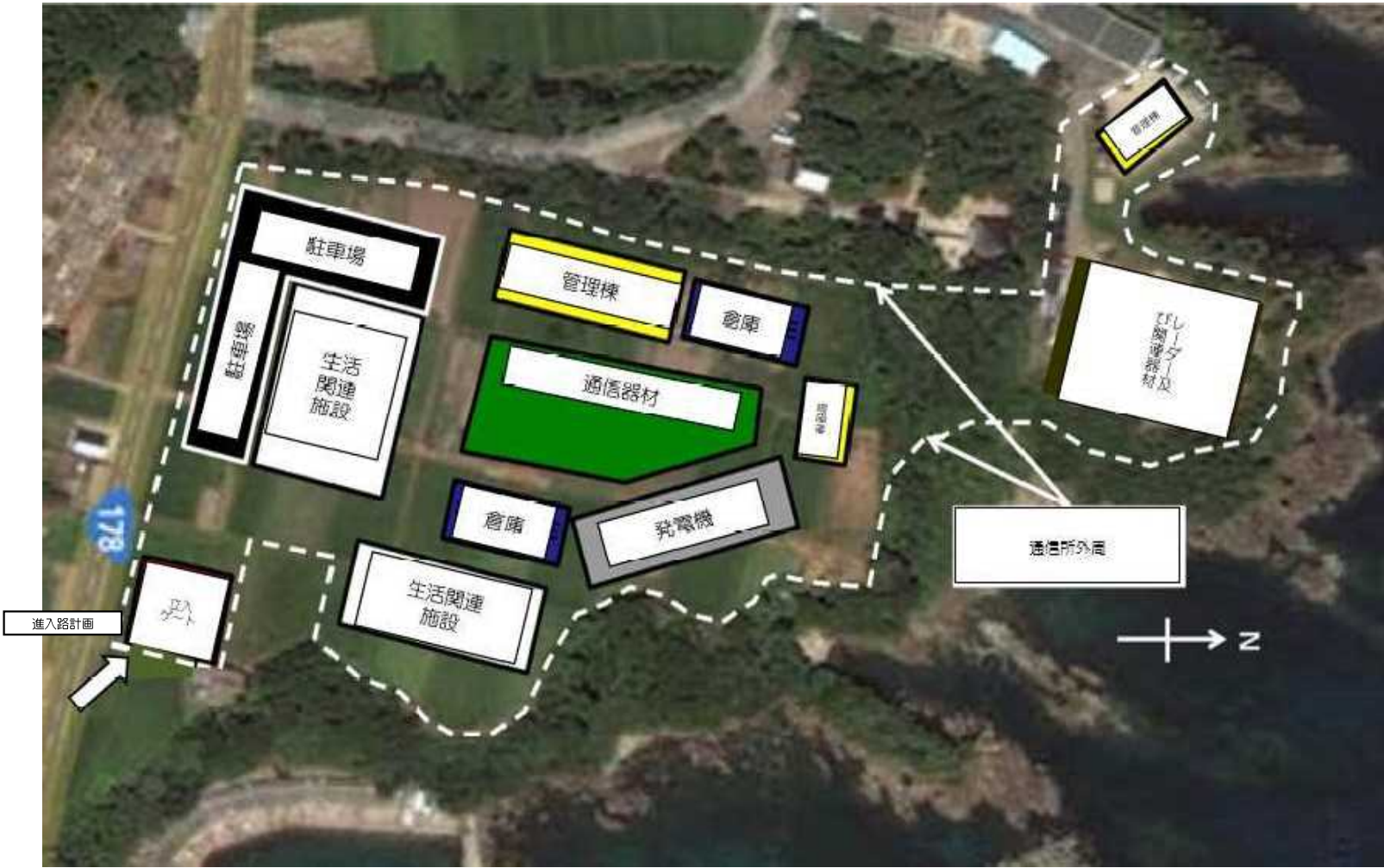
第Ⅰ期の建設工事完了後（2014年）



※変更となる可能性あり

（平成26年4月住民説明会配布資料）

第II期の建設工事完了後（2017年）



※変更となる可能性あり

（平成26年4月住民説明会配布資料）

## 騒音対策



防音パネル・吸音パッド(平成26年12月設置)



マフラー(平成27年2~3月設置)



## 1 調査内容

## (1) 調査日時等

調査名	区分	実施日時等	測定箇所	調査項目
調査1	マフラー設置前 (仮設防音パネルあり)	平成27年2月7日(土) 午前0時～午前4時 風向・風速:南寄り・3m程度 気温:6℃前後、湿度:50%前後	・米軍経ヶ岬通信所内 ・周辺地域(3カ所)	・騒音レベル ・周波数特性
調査2	マフラー設置後 (仮設防音パネルあり)	平成27年2月25日(水) 午前0時～午前4時 風向・風速:北西或いは西寄り・2m程度 気温:6～8℃、湿度:95%前後	・周辺地域(3カ所)	・騒音レベル ・周波数特性
調査3	マフラー設置後 (仮設防音パネルなし)	平成27年3月16日(月)午後10時～ 3月17日(火)午前3時30分 風向・風速:南西・1m程度 気温:9～10℃、湿度:80%前後	・米軍経ヶ岬通信所内 ・周辺地域(3カ所)	・騒音レベル ・周波数特性

※ 測定点は、すべて「屋外」である。

## (2) 測定方法

上記の測定箇所(屋外)において、発電機の定常稼働状態における稼働騒音を測定。

使用機器: リオン社製 広帯域音圧計 XN-2P



広帯域音圧計 XN-2P

1 調査内容

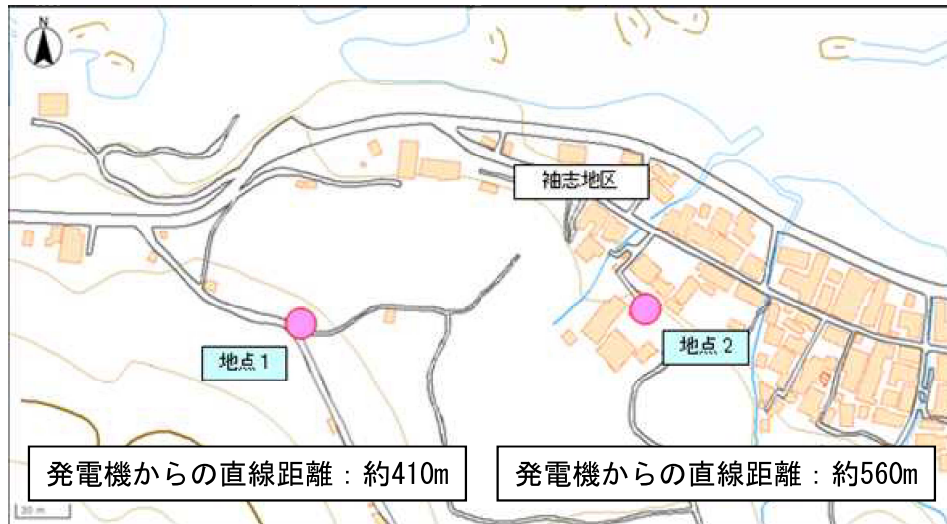
(3) 測定箇所位置図



測定点位置図



経ヶ岬通信所内



地点1 袖志地区棚田付近 地点2 袖志地区萬福寺付近



地点3 尾和地区尾和会館付近

## 2 結果概要

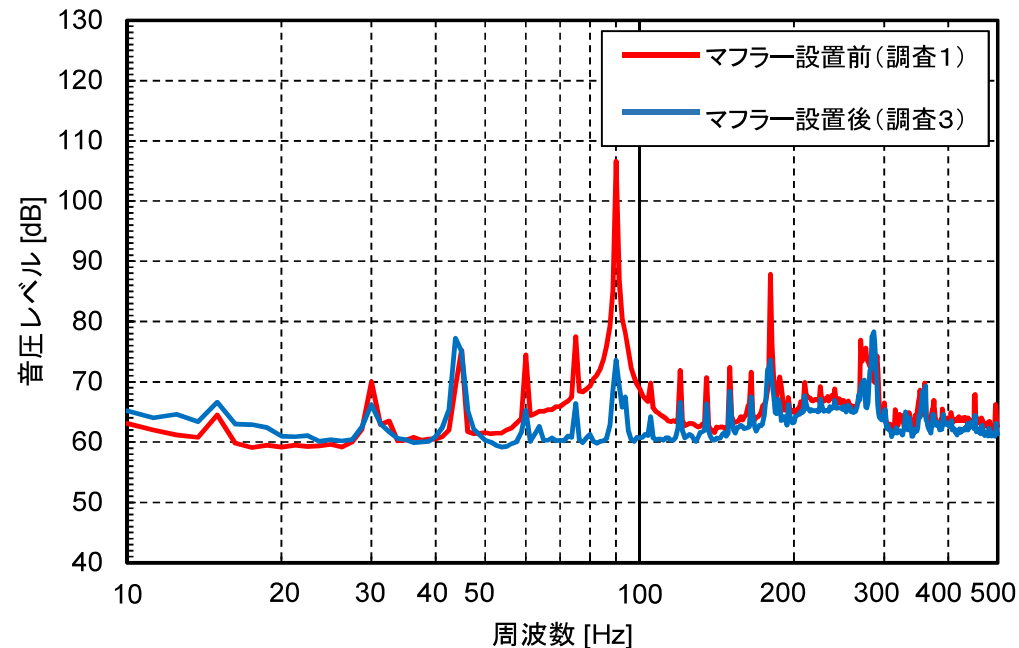
### (1) 経ヶ岬通信所内

マフラー設置前（調査1）とマフラー設置後（調査3）における仮設防音パネル上部（地上5m）の測定結果の平均値は下表のとおり。

マフラー設置前の状態では、低周波音に属する90Hzの周波数成分が非常に大きく、この90Hzの音が経ヶ岬通信所の周辺地域における苦情の原因である可能性が大。

マフラー設置後においては、90Hzの音の卓越はほぼ解消。

マフラー設置前後における周波数特性の比較  
(FFT分析)



FFT分析：定幅分析とも言い、周波数を一定幅で区切って帯域ごとの音圧レベルを求める方法。一定幅の狭い周波数帯に分解することができるため、騒音源の特定に有効。

## 2 結果概要

## (2) 周辺地域

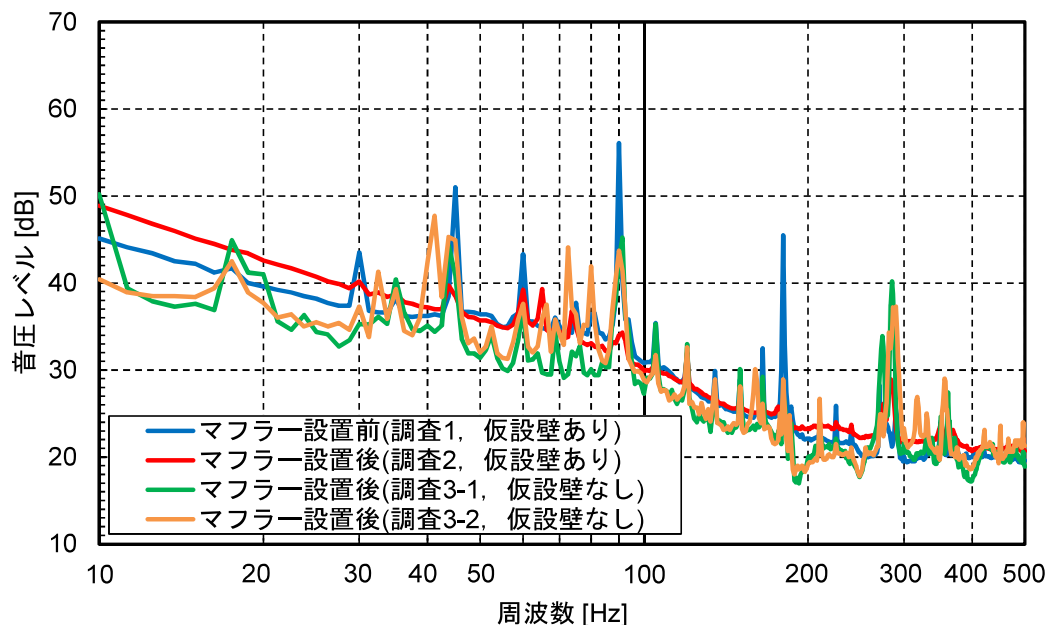
## ア 地点1 (袖志地区 棚田付近)

調査1 (マフラー設置前、仮設防音パネルあり) においては、90Hzに卓越した周波数成分がみられることを確認。

調査2 (マフラー設置後、仮設防音パネルあり) においては、マフラー設置前における90Hzの卓越した周波数成分がみられなくなっており、聴覚上でも低い音は聞こえない状況。90Hzの音が大きく低減したことにより、285Hz付近の音が最も目立つ状況に変化。

調査3 (マフラー設置後、仮設防音パネルなし) においても、90Hzの卓越した周波数成分がみられなくなっているが、調査2に対して40~90Hzの間及び285Hz付近のピークが大きくなっており、聴覚上でも285Hz付近の音を確認。これは、仮設防音パネルを一時的に撤去した状態で測定を行っており、当該パネルには一定の効果があったと考えられるところ。

地点1 (棚田付近) における騒音測定結果  
(FFT分析)



調査3-1 : 発電機②③④が稼働  
調査3-2 : 発電機①⑤⑥が稼働  
(次葉以下同じ)

## 2 結果概要

## (2) 周辺地域

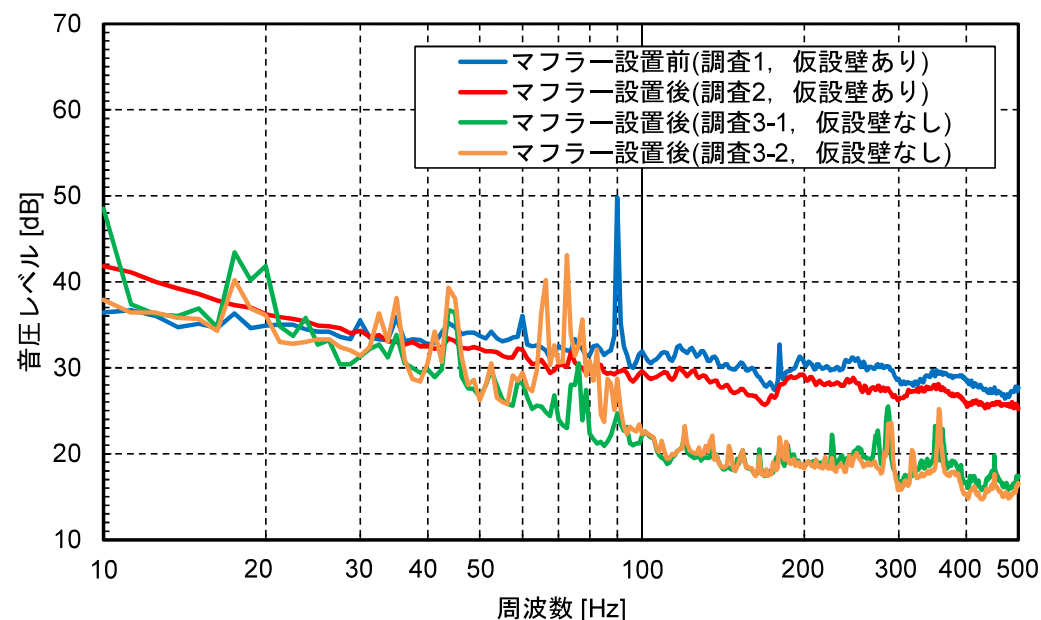
## イ 地点2 (袖志地区 萬福寺付近)

調査1 (マフラー設置前、仮設防音パネルあり) においては、90Hzに卓越した周波数成分がみられるが、250Hz以上の周波数成分も大きく、聴覚上においても波の音の影響が大きいことを確認。

調査2 (マフラー設置後、仮設防音パネルあり) においては、マフラー設置前における90Hzの卓越した周波数成分がみられなくなっており、また、聴覚上でも発電機の音は聞き取れず、主たる音源は波の音であることを確認。

調査3 (マフラー設置後、仮設防音パネルなし) においても、マフラー設置前における90Hzの卓越した周波数成分は大幅に低減。

地点2 (萬福寺付近) における騒音測定結果  
(FFT分析)





## 2 結果概要

## (2) 周辺地域内

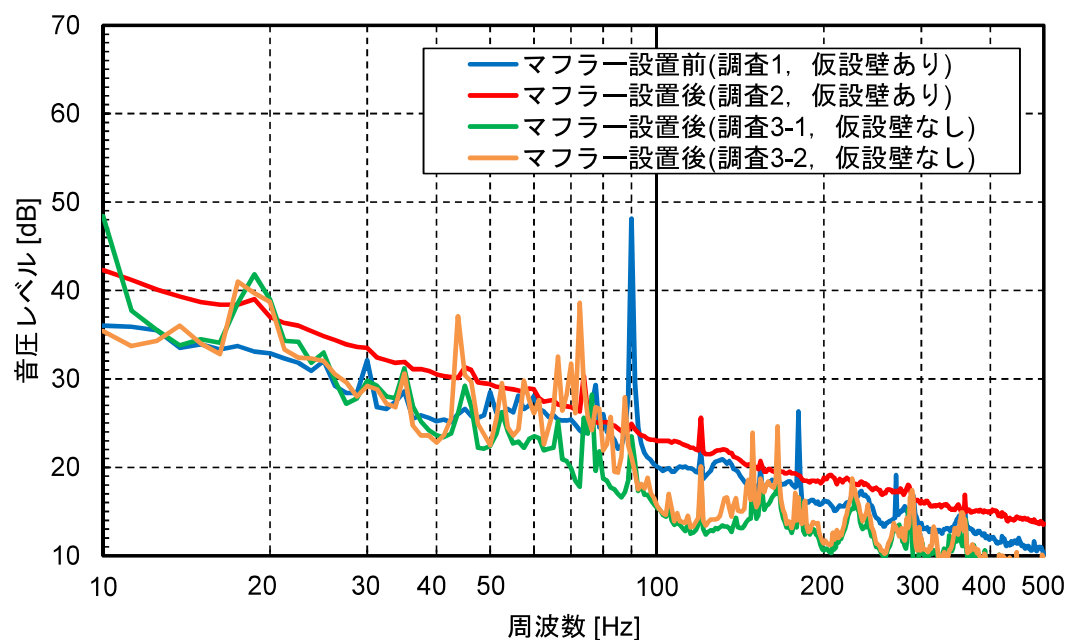
## ウ 地点3 (尾和地区 尾和会館付近)

調査1 (マフラー設置前、仮設防音パネルあり) においては、90Hzに卓越した周波数成分を確認。

調査2 (マフラー設置後、仮設防音パネルあり) においては、マフラー設置前における90Hzの卓越した周波数成分がみられなくなっており、また、聴覚上でも発電機の音は聞き取れず、主たる音源は水路の流水音であることを確認。

調査3 (マフラー設置後、仮設防音パネルなし) においても、90Hzの卓越した周波数成分がみられなくなっていることを確認。聴覚上では、地点1と同様に285Hz付近の音がかすかに聞こえていたが、主たる音源は水路の流水音であることを確認。

地点3 (尾和会館) における騒音測定結果  
(FFT分析)



## 3 低周波音に関する参考的評価

周辺地域における騒音苦情の主な要因と考えられた90Hz前後の低周波音の測定結果（屋外）について、参考的に「心身に係る苦情に関する参照値」と対比。

なお、当該参照値は、低周波音によると思われる苦情に対処するための目安として、「屋内」における低周波音と対比すべき指標。

マフラー設置後の調査において、全地点で音圧レベルが小さくなり、地点1及び地点2では参照値をわずかに上回る程度に、また、地点3では参照値を下回るまでそれぞれ低減。

環境省の低周波音対策検討調査（中間とりまとめ）によれば、低周波音の屋内外音圧レベル差は、周波数の増加に伴って大きくなる傾向にあり、木造家屋・木枠窓の場合、80Hzで10dB程度の減衰が見込まれることから、マフラー設置後における屋内の低周波音の大きさは、参照値を下回る可能性が高いと考えられるところ。

（単位：デシベル）

測定点	1/3オクターブバンド 中心周波数 (注5)	低周波音圧レベル測定結果【屋外】				心身に係る苦情 に関する参照値 【屋内】 (注1～4)
		仮設防音パネルあり		仮設防音パネルなし		
		マフラー設置前	マフラー設置後			
		調査1	調査2	調査3-1	調査3-2	
地点1 袖志地区棚田付近	80Hz	53	44	46	50	41
	100Hz	56	42	49	48	—
地点2 袖志地区萬福寺付近	80Hz	48	42	37	46	41
	100Hz	51	42	34	36	—
地点3 尾和地区尾和会館付近	80Hz	44	36	34	41	41
	100Hz	47	33	30	31	—

- 注：1 低周波問題対応の手引書（環境省環境管理局大気生活環境室）における低周波音問題対応のための「評価指針」に示された参照値である。  
 2 参照値は、低周波音について苦情の申し立てが発生した際に、低周波音による苦情かどうかを判断するための目安であり、低周波音についての対策目標値、環境アセスメントの環境保全目標値や作業環境のガイドラインとして策定されたものではない。  
 3 心身に係る苦情に関する参照値は、「屋内」における低周波音の測定結果と対比すべき指標である。  
 4 低周波音問題対応のための「評価指針」には、100Hzの参照値は示されていない。  
 5 1/3オクターブバンド中心周波数とは、感覚量評価の際に用いられることが多いオクターブ分析（定比幅分析）のうち、1/3オクターブ分析における個々の周波数帯の中心の周波数である。

## 近畿中部防衛局が情報提供した事故一覧(平成27年度)

本資料は、近畿中部防衛局が、関係機関に情報提供を行った内容を基に作成したものであり、個別事案の処理の状況により内容が異なる場合がある。

- |          |         |           |
|----------|---------|-----------|
| 27. 5.12 | 京丹後市峰山町 | 物損事故(ポール) |
| 27. 5.15 | 宮津市     | 物損事故(ポール) |

# 安全・安心対策の取組～交通安全講習会を開催～

【資料7】

近畿中部防衛局と京丹後警察署は、平成27年5月13日、京丹後市網野町の網野自動車教習所に御協力いただき、経ヶ岬通信所に勤務する軍人等を対象とした交通安全講習会を開催しました。市民の安全・安心対策の一つであるこの講習会は、今回が3度目の開催であり、受講した約30名の米軍人等は、経ヶ岬通信所周辺地域における危険箇所等の講義、教習所及び公道での実車講習等を通じ、交通安全に対する理解を深めました。



所内コースでの実車講習



講義の様子



公道での実車講習



自転車実車講習

交通誘導・巡回警備実施状況

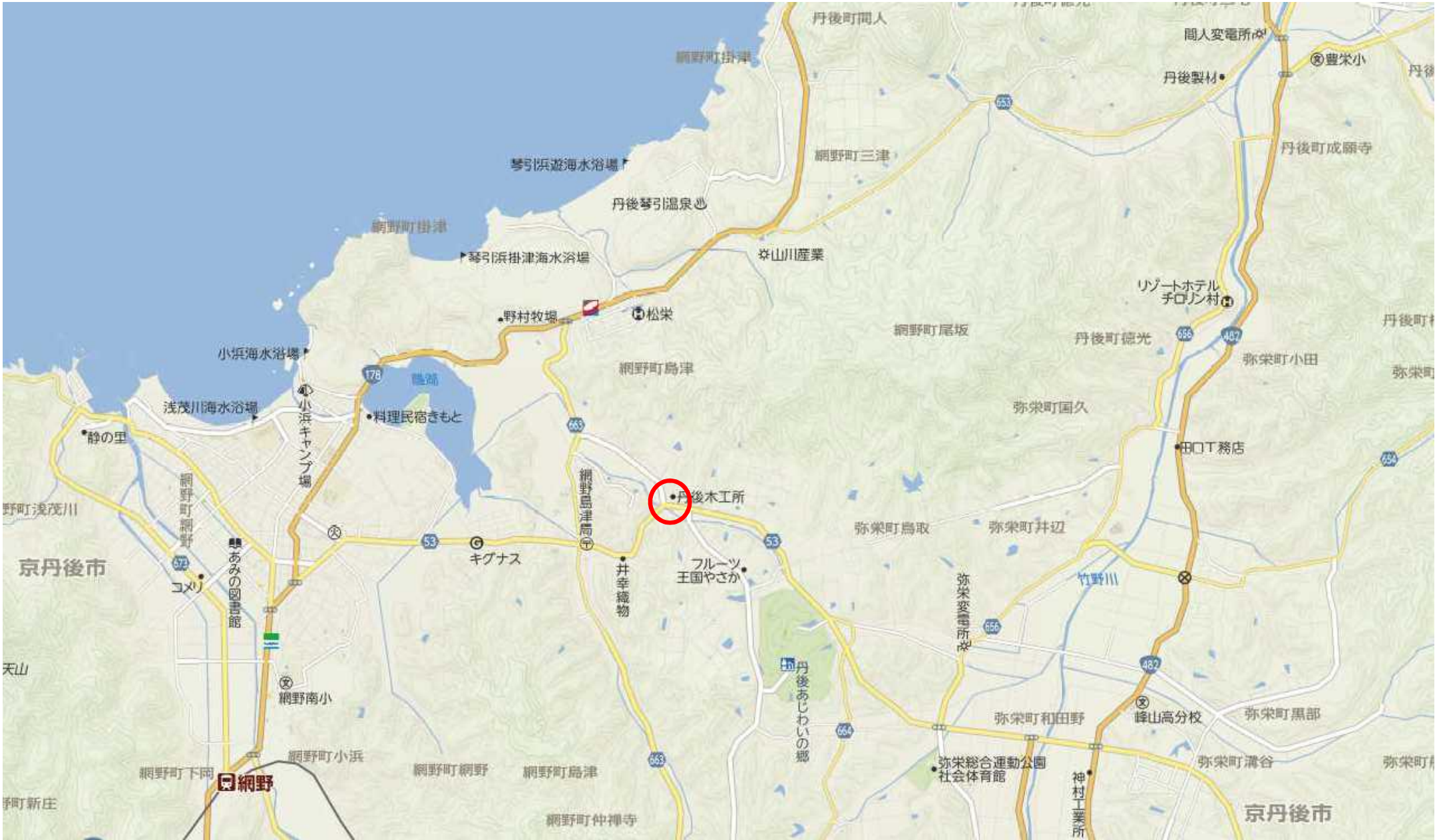


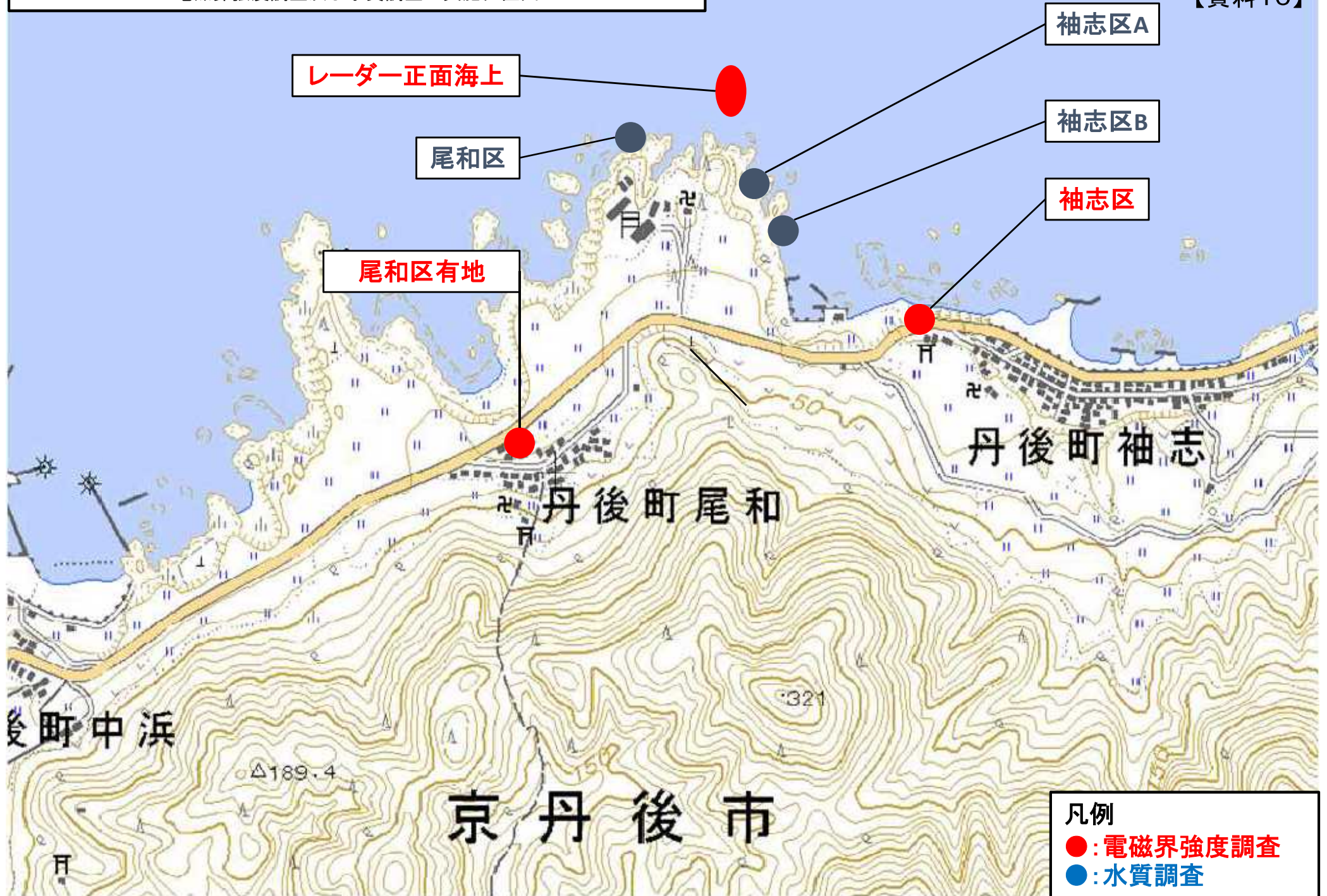
宇川小学校前での児童の交通誘導(正門前)



峰山地区・宇川地区での巡回警備(車両及び徒歩)

居住地（網野町島津地区）





# 地域との交流（イースターエッグハント 27. 4. 5）





# 地域との交流（いかり高原まつり 27. 5. 24）



平成27年度経ヶ岬関連実施予定事業一覧表

【資料12-1】

	事業の名称	補助事業者名
再編交付金	(平成27年度単歳分)	京丹後市長
	花いっぱいのもちづくり推進事業	
	市内有人駅AED設置事業	
	災害等ハザードマップ作成事業	
	防犯パトロール車購入事業	
	廃棄物処理施設環境整備事業	
	ふれあい広場設置事業補助金	
	LED防犯灯設置事業	
	防犯カメラ設置事業	
	防災拠点施設改修事業	
	健康管理支援事業	
	高齢者インフルエンザ予防接種事業	
	農道改修整備事業	
	袖志海岸沖防波堤防護等事業	
	海浜施設環境整備事業	
	市道改修整備事業	
	都市公園環境整備事業	
義務教育施設環境整備事業		
17件		
民生安定	(平成27年度単歳分)	京丹後市長
	除雪機械整備事業	
	竹野分遣所高規格救急車整備事業	
2件		
障害防止	(平成27年度単歳分)	京丹後市長
	宇川地区農業施設改修事業	
1件		
道路改修等	(平成27年度単歳分)	京都府知事
	浜丹後線(上野平バイパス、宮バイパス)	
	間人大宮線	
2件		
工事費 (原因者負担金)	(平成27年度単歳分)	京都府知事
	国道178号線(袖志工区、カマヤ工区)、国道482号線(大山工区)	
1件		
計	23件	

再編交付金事業



住民の生活の安全の向上に関する事業(LED 防犯灯)



防災に関する事業(AED設置)

民生安定事業



除雪機械



高規格救急車

障害防止事業



尾和用水路事業

民生安定事業



間人大宮線



浜丹後線

(平成27年度実施予定事業イメージ)

工事費(原因者負担金)



国道178号線(袖志工区)



国道178号線(カマヤ工区)



国道482号線(大山工区)

## 航空自衛隊経ヶ岬分屯基地における施設整備計画の概要

### 1 施設整備計画

#### (1) 実施理由

移動警戒隊の展開用地等として利用していた土地を米軍経ヶ岬通信所用地として提供したことから、新規に用地を取得し、既存施設の移設等を行い、航空自衛隊経ヶ岬分屯基地の基地機能を確保する。

#### (2) 整備計画

##### ア 移動警戒隊展開地整備

・既設基地内の建物(通信局舎)及び工作物(鉄塔等)を撤去し、移動警戒隊の展開地を整備

・庁舎は、新規取得用地における新設後に撤去予定

##### イ 新規取得用地における主な施設整備

・建物:庁舎(RC-3 約4,000㎡)

通信局舎(RC-1約230㎡)

警衛所(RC-1 約100㎡)等

・工作物:鉄塔2基(高さ約30m)、グラウンド等

### 2 計画図



航空自衛隊経ヶ岬分屯基地における施設整備 全体計画工程表

工 種	平成27年度												平成28年度												平成29年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
造成工事																																				
通信鉄塔新設 局舎新設																																				
隊庁舎新設 警衛所新設																																				
屋外訓練場新設 構内道路整備																																				
庁舎解体 解体跡地整備																																				

本表は、現時点での計画工程である。

平成27年4月  
近畿中部防衛局

平成27年度 航空自衛隊経ヶ岬分屯基地における施設整備 工事予定表

工 種	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
仮囲いほか	■																																
造成工事	■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■		
雨水排水工事							■			■			■			■			■			■			■			■			■		
擁壁工事							■			■			■			■			■			■			■			■			■		
給水工事										■			■			■			■			■			■			■			■		
設備工事										■			■			■			■			■			■			■			■		

本表は、工事の進捗状況等により今後変更があり得る。



# 資機材運搬経路図

【資料13-4】



①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	



大型車両



工事車両明示板



通勤車両

